

平成23年行政事業レビューシート (外務省)

事業名	在日米軍の兵力態勢再編に関する協議関係経費		担当部局庁	北米局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成18年度開始		担当課室	日米安全保障条約課		課長 船越 健裕		
会計区分	一般会計		施策名	北米地域外交に必要な経費				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	外務省設置法第四条第一項イ		関係する計画、通知等					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	平成17年10月及び平成18年5月に開催された2回の日米安全保障協議委員会を通じて在日米軍の兵力態勢再編の具体的な実施計画が取り纏められた。在沖縄海兵隊のグアム移転についても米国との間での国際約束が締結・発効(平成21年5月)した。さらに普天間飛行場の移設問題については、平成21年9月に発生した民主党連立政権の下、移設先の検証・検討が行われてきたが、平成22年5月の「2+2」共同発表等により大きな方向性が確認され、平成23年6月の「2+2」共同発表等により右方向性が確認された。今後も、グアム移転事業、普天間飛行場の移設・返還、嘉手納基地以南の基地の整理・統合、横田飛行場の軍民共用化等、地元の負担軽減を推進するための各種事業を着実に実施するために、日米間で種々の技術的・具体的な調整に取り組んでおり、協議を継続する必要がある。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	兵力態勢の再編については、平成18年5月の「2+2」で公表された具体的な実施計画(ロードマップ)が具体的な実施段階に入る中、地元の要請や、米軍の運用に関する種々の困難な調整が必要となっている。また再編の事案が極めて多岐に亘るとの事情もある。こうした点を踏まえ、在日米軍再編を全体として着実に進展させ、閣僚レベルでコミットした目標期限を達成するためには、フォローアップを継続的に行っていくことが必要かつ不可欠である。なお、平成23年6月に開催した「2+2」閣僚会合においても、日米の4閣僚で確認されたとおり、「ロードマップ」に基づき米軍再編を着実に実施すべく、在沖縄海兵隊のグアム移転に係る協定の実施をはじめ日米間で精力的な取組がなされている。引き続き、地元負担軽減の観点から、米軍再編を着実に実施していくためには、日米間で次官・局長級の協議に加え、これを実務的観点から、個別具体的な事業の詳細をフォローするために、外務・防衛当局者の審議官・課長レベルで積極的に協議を積み重ねていくことが必要。							
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託等 ☐ 補助 ☐ 貸付 ☐ その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	10	13	10	10	9	
		補正予算	-	-	-	-		
		繰越し等	-	-	-	-		
		計	10	13	10	10	9	
	執行額		13	12	10			
	執行率(%)		131.3%	93.3%	103.2%			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (23年度)
	成果実績				65.0%	80.0%	81.0%	85.0%
	達成度		%					
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	出張回数		活動実績 (当初見込み)	回	24	14	17 (12)	— (16)
単位当たりコスト	588,714 (円/回)		算出根拠	出張実績額÷回数				
平成23・24年度予算内訳 (単位:千円)	費目		23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由			
	旅費		9,773	9,335				
	計		9,773	9,335				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	－	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	－	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	旅費類については、各出張の必要性を精査した上で支出している。		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	単価見直しによる減		
	上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)		
縮減(単価見直しによる減)			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

※平成22年度実績を記入

外務省
10百万円

兵力態勢再編に関する日米協議への
出席旅費



A 出張者8名
10百万円

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:百万円)

費目・使途 (「資金の流れ」 においてブロックごとに最大の 金額が支出されている者について 記載する。費 目と使途の双方 で実情が分かる ように記載)	A.出張者					
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	旅費	外国旅費	10.0			
	計		10.0	計		0.0
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0.0	計		0.0
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0.0	計		0.0
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0.0	計		0.0
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0.0	計		0.0

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	出張者A	国外出張費	2.2		
2	出張者B	国外出張費	1.9		
3	出張者C	国外出張費	1.7		
4	出張者D	国外出張費	1.2		
5	出張者E	国外出張費	1.0		
6	出張者F	国外出張費	0.5		
7	出張者G	国外出張費	0.5		
8	出張者H	国外出張費	0.5		
9					
10					